

経営比較分析表（令和4年度決算）

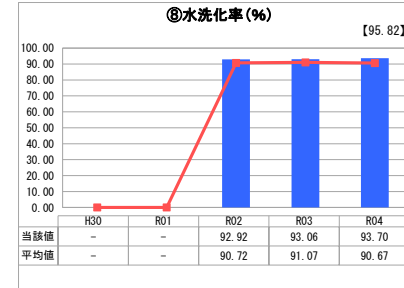
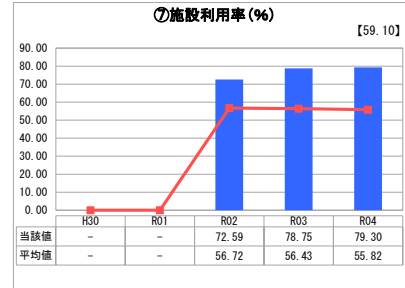
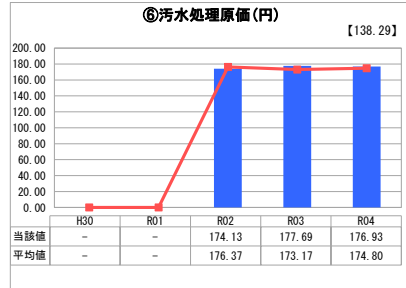
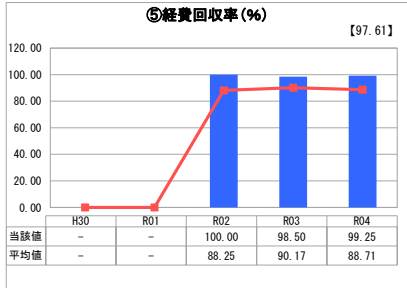
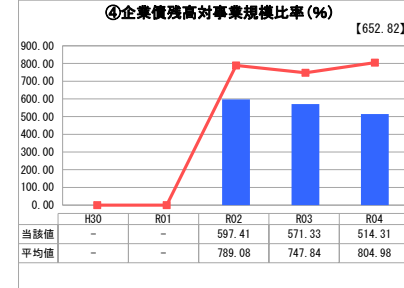
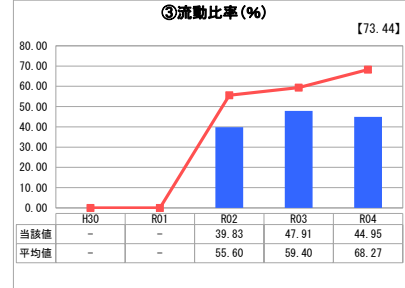
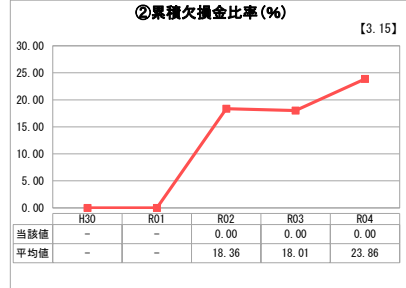
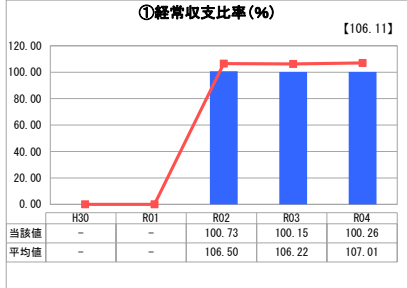
茨城県 結城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.91	58.73	59.84	3,410

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,349	65.76	765.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
29,469	8.38	3,516.59

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

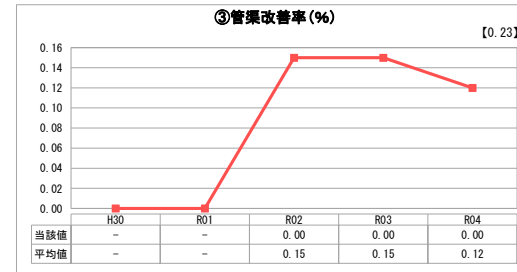
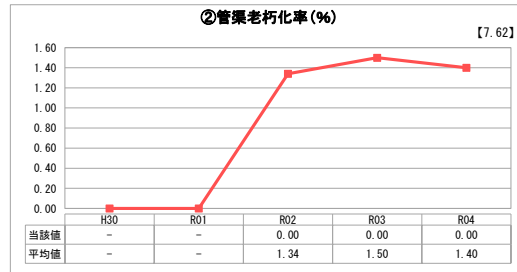
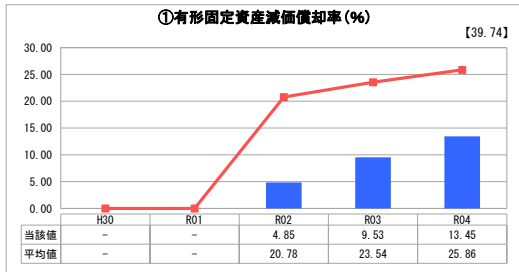


分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、前年度と同様収支が黒字であることを示す100%以上となっているため、経営は健全であるといえる。しかし、類似団体平均値を下回っているため、計画的な施設修繕等により費用の削減を図っていく必要がある。
 - ②累積欠損金は発生しておらず、経営は健全であるといえる。
 - ③流動比率は流動資産の減により前年度より比率が減少し、1年以内の支払能力は依然として低い状況である。流動負債の多くが建設改良費に係る企業債であり、施設整備により今後使用料収入等の増が見込めるが、より支払能力を高めるために接続率向上等に努める必要がある。
 - ④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値より低く、概ね効率的で料金水準にあった適正な投資を実施しているといえる。
 - ⑤経費回収率は、一部の経費に対し国庫補助金を充当したことにより、全て使用料で賄えていることを示す100%を下回っているが、概ね経営は健全であるといえる。
 - ⑥汚水処理原価は前年度より減少したものの、いまだ類似団体平均値を超えた値となっている。今後の数値上昇を抑えるため、維持管理費の削減や有収水量の向上に努める。
 - ⑦施設利用率は類似団体平均値を上回っており、適切な施設規模であるといえる。
 - ⑧水洗化率は類似団体平均値を上回っており、概ね良好である。引き続き普及促進活動を行い、水洗化率向上に努める。
- ### 2. 老朽化の状況について
- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低く、早急な施設の更新等が必要な状況ではないといえる。今後もストックマネジメント計画に基づき、計画的な更新を図っていく。
 - ②管渠老朽化率は0であり、法定耐用年数を超えた管渠はない。
 - ③管渠改善率は0であり、更新した管渠はない。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在の経営状況は概ね健全であるが、類似団体平均値との比較により、改善すべき課題もあるといえる。今後は維持管理・更新コストの増大や人口減少による有収水量の減少など、厳しい条件が増えると予想されるため、経営戦略やストックマネジメント計画に基づいた施設管理・更新を進めつつ、経営状況や資産状況を正確に把握し、適正な料金設定や施設の維持管理に反映することで、健全な運営を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。